

歯科衛生士

THE JOURNAL OF DENTAL HYGIENIST

<http://www.quint-j.co.jp/>

2011年11月10日発行 毎月1回10日発行(通巻419号)
第三種郵便物認可1977年8月25日 ISSN 0911-9574



連載 ステージ別に学習できる!

新人ステージ 卒後間もない&臨床経験が少ない人が学ぶステージ

キミかゆいところに手が届くね!「見よう!聞こう!言おう!」からはじまる
できるアシスタントワーク

患者さんとの会話 自分の苦手なココを克服

初級ステージ 診療室でのグローバルスタンダードを身につけるステージ

ヒントとともに学ぶ
オーバーインスツルメンテーションに
なってしまう3つの理由

教科書には載っていない
縫合アシスタントワークのあのワザこのワザ

中級ステージ 歯科の枠を超えた知識を身につけて対応していくステージ

私たちが守ろう!
子どもの健康 子どもの生活

Q&Aで理解する義歯ケア
~長く快適に使用してもらうためのヒント集~

上級ステージ 診療所にこだわらない視点で動くステージ

健康な高齢者の生活を知る

介護&医療現場のデビュー前に
キーワードで理解する多職種協働のツボ

特別企画

これは使える!
**小児の歯科保健指導に
役立つ・生かす
15の食育知識**

2011
Vol.35

11



健康な高齢者の生活を知る

第7回(最終回)：高齢者のセクシャリティ

鈴木俊夫、鈴木 聡

名古屋市・鈴木歯科医院
歯科医師

はじめに

異性に恋をしたり、愛する心を持つことは、誰にとっても人生の楽しみの一つだろう。それはたとえ認知症であっても要介護状態に陥っても、変わることはない。施設や在宅において、性に関する問題はいつでも発生し、事業所や施設

の内部では話題となっている。しかし、その問題への教育や管理指導が不十分なため、介護職員が退職する理由の1つになっているとも指摘されている。現場では対応の必要に迫られているにもかかわらず、性に関する問題は触れてはいけな

い風潮もあり、ほとんど改善されていないのが現状である。

今回は要介護高齢者のセクシャリティについて、性に関する統計や実際の事例を挙げながら解説していきたい。

高齢者の性に関する統計

図1～3は、60歳以上の高齢者の性について調査したものである。この種の統計は国内ではほとんど実施されておらず、筆者が知る数少ない資料である。

一般的に「年寄りや、老いて枯れている」などと言われるが、統計からもわかるように、現実には「老いてますます元気」そのものであるといえよう。まず先にこの現実を認識しておかないと、さまざまな問題を引

き起こしてしまうことを理解しておきたい。

お年を召しても子どもをつくる男性がいることは知られているが、女性も人体の構造上、男性に比べると若干の違いは見受けられる。

施設および居宅で実際に起きる事例

施設には多くの人の目があるが、入所者にとっては生活の場であり、外部と閉ざされた世界である。とりわけ特別養護老人ホームでは、そこ

で最期を迎える入所者も多い。

元気な高齢者が、施設の中で相手を見つけて結婚される、などということはよく聞く。しかし中には、(言葉が適切かどうかわからないが)入所者同士で恋争いをしたり、施設職員(介護職員、管理栄養士、言語聴覚士、リハビリ関係者など)に恋心を抱いてトラブルが発生、といったことも起きる。そのようなケースは、ベテランの上司や人生の機微を知っている先輩などに相談しながら対応していかないと、思わぬ事故を起こすので

図1：高齢者の性交頻度

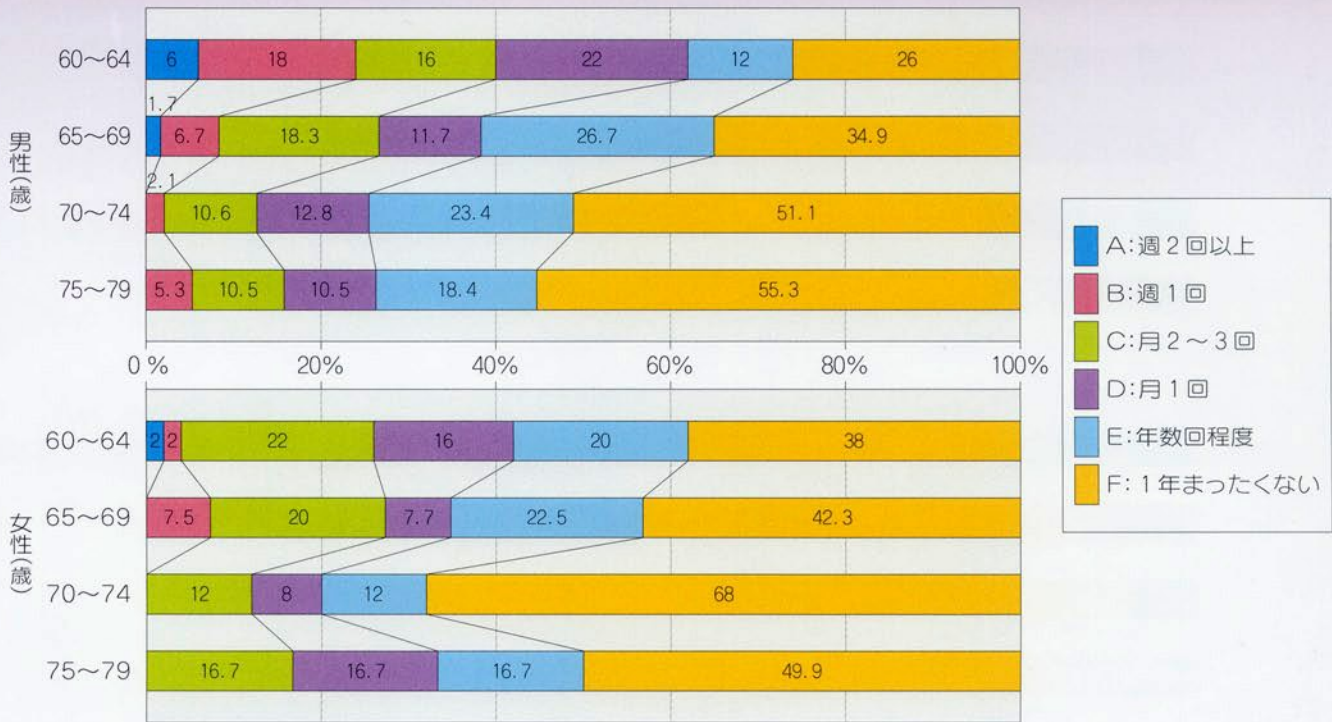


図1 60歳から79歳までの高齢者にアンケートをとった。意外にも多くの高齢者が性交渉を行っている(参考文献1より引用)。

注意する必要がある。具体的な事例を挙げよう。

- 入所者が職員の身体に故意に触れる
- 入所者が他の入所者の身体に故意に触れる
- ある男性入所者に複数の女性入所者が恋心を抱き、お菓子などのプレゼント攻勢を繰り返す
- 女性入所者がある男性介護職員に恋心を抱き、彼が女性介護職員と話をしているだけで嫉妬して、その女性職員を「孫の手」で叩いたり車椅子で体当たりする
- 昼夜関係なく、好きな異性の部屋を頻りに訪問し他の同室者に迷惑をかける

- 認知症の女性患者が「A 介護職員の子どもを妊娠した」などと言ってまわる
- 女性入居者が自分の陰部洗浄を男性介護職員に希望する(また、その反対もある)
- 部屋替えてトラブルが起きる

また居宅においても、以下のような同様の問題が発生している。

- 女性訪問介護員が男性利用者宅へ訪問し部屋の掃除などの仕事をしているとき、身体に故意に触れる
- 女性利用者宅へ、男性介護員や女性介護員が訪問して部屋の掃除などをしていると、身体に触れたり

触れることを要求する

- 利用者宅へ訪問介護員が出向くと布団を敷いて待っており「ここへ来て……」と言われる
- 恋した訪問介護員の後を追いつトーカー行為を行う
- 介護しているお嫁さんの身体に、介護されているお舅さんが故意に触れてくる
- 風俗店へ連れて行ってほしいと要望する

このように多種多様なケースが日常に見受けられる。施設入所者やサービス利用者の心理や人間関係をよく把握しておかなくてはならない。

図2：高齢者が考える望ましい性関係

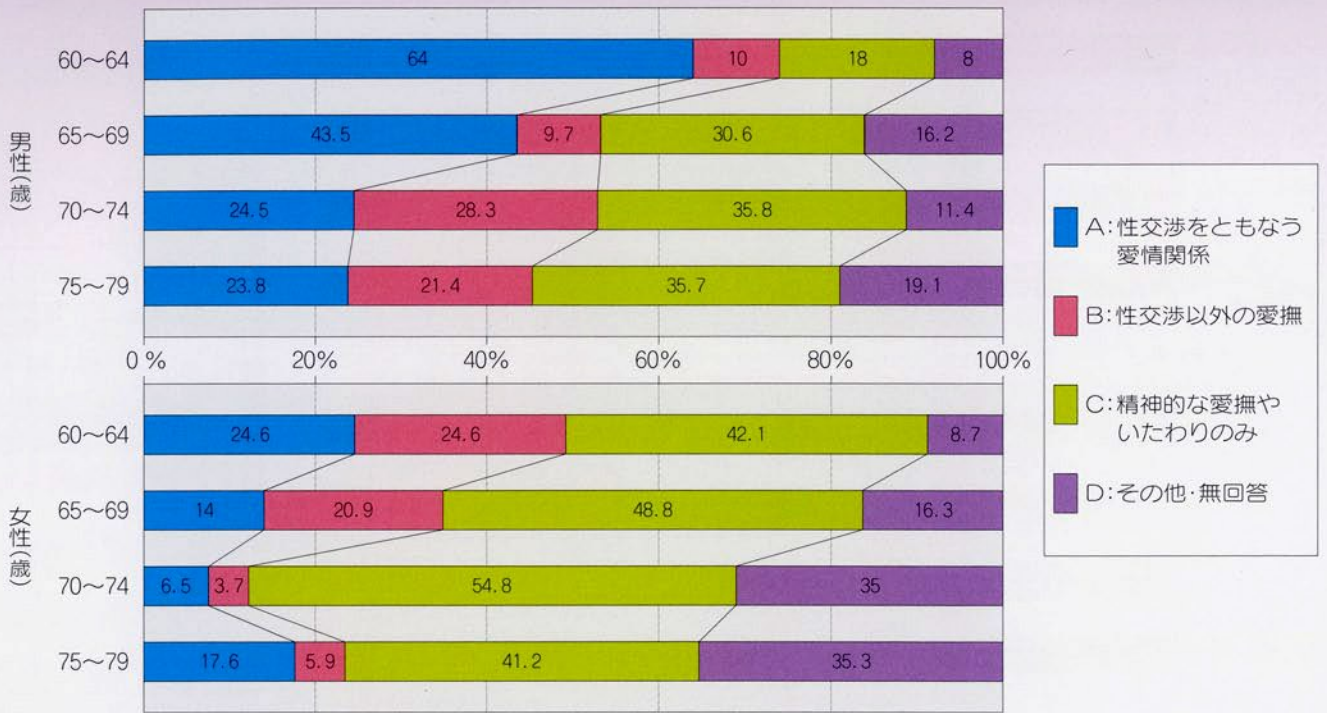


図2 男性と女性で意識に差が見られる(参考文献1より引用)。

図3：ある介護福祉施設入所者の性欲の内容

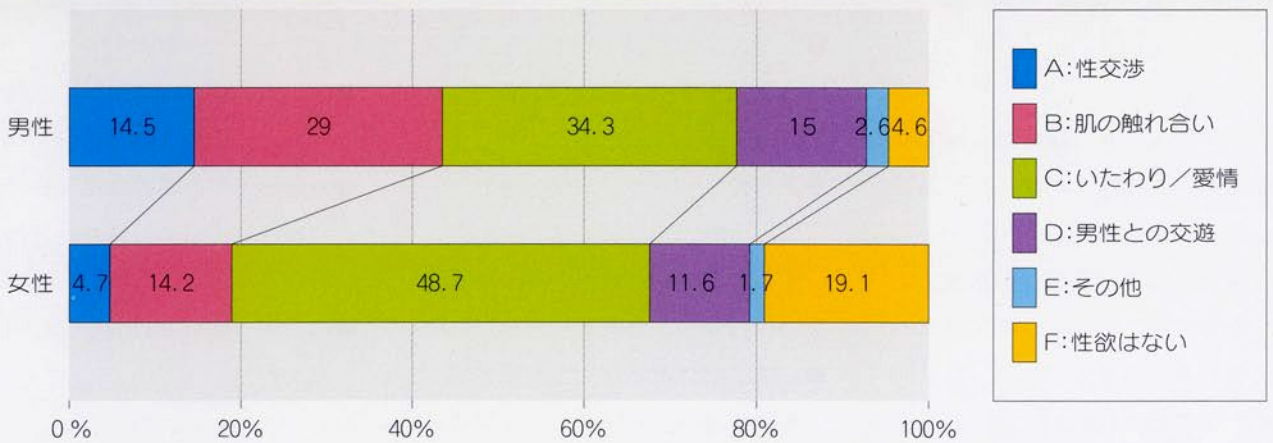


図3 性欲とはいたりや愛情を求める欲求であると考えられている一方、性交渉の欲求であると考えている高齢者もいる(参考文献1より引用)。

トラブル防止の 対処法

男女間の問題は複雑多岐にわたる。トラブルを未然に防ぐためには、まず利用者や入所者の情報を、介護支援専門員や相談員が訪問介護事業所に提供しよう。その後、どのように対応したらよいかカンファレンスを開催して議論し、そこで得られた情報や合意を職員に周知徹底するとよいだろう。

利用者に対しては、尊厳を傷つけるような発言は差し控え、接遇をはかることが重要である。同時に、安易にご家族や介護者、他の事業所関係者にトラブルについて話さないようにしてはならない。

注意しても問題行為が続くようであれば、介護支援専門員や相談員と対策を再度検討し、ご家族などに問題を伝えることはなるべく後にしたい。サービス利用の打ち切りや金銭問題など、さまざまな形で問題が拡大、波及してくることがあるためである。細心の注意を払おう。なお今後は、高齢化した男性の同性愛者が男性職員による介護を希望するケースや、戦時中南方へ出征していた男性利用者が東南アジア系の介護職員に対し不愉快な言動をするケースなども推測されるので、その対応も考慮しておかなくてはならない。

職員に対する高齢者のセクシャリ

ティについて教育を徹底することが不可欠であるが、現状では教育カリキュラムの項目としては入っておらず、行政も「避けて通っている」ような印象の対応で、こういった教育不足により介護職員が退職していくのは残念である。また、居宅介護支援事業所や相談員などからの情報提供が確実に行われ、初期からの対応を図ることが問題の発生を少なくすることになるが、現状ではまだまだ不十分としかいえない。1日でも早く、教育の充実を望みたい。

参考文献

1. 荒木乳根子. 高齢者の性を理解する. 総合ケア 2001; 11(12): 6-11.

Column

高齢者の生活をサポートする GOODS

vol.7

薬の整理ケース

伊里みゆき

総合相談グループ リーダー
社会福祉士・主任ケアマネジャー



高齢になるにつれて、飲む薬も増えてくる。病院へ行くと、飲みたくなくてもたくさんの薬が処方される。この薬は朝1錠、あれは朝・昼・夕2錠、それは就寝前1錠……とややこしい。まるで薬を飲む仕事のような。手づくりの箱などを使って1週間分を整理する方もいるが、多くの人は、膨大な薬の袋から選んで取り出しているだろう。きつと飲み過ぎたり飲み忘れていたりする方もいるに違いない。飲み忘れると重大な影響があり、体調が悪くなることもあるので気をつけたい。また今は、薬の効果や副作用の説明書が必ず付いているので、目を通したい。

薬を整理するケースには、1週間分、2週間分がわかる壁掛けカレンダータイプのものやボックスタイプのものがある。ともに1週間分の薬を分けし、管理することができるので便利である。特に壁掛けタイプは、場所をとらないうえ、ビニール部分に水性マジックで予定を書いて、ティッシュで消すことも可能だ。整理が困難な高齢者の方は、家族などに手伝ってもらおうとよいだろう。

写真左：週間投薬カレンダー1日3回用 株式会社東武商品サービス
写真右：くすり整理ボックス シンコハンガー株式会社